

【オリコンサルHDが定例会 強みを生かしあるべき姿描く】



参加した写真。

強みを生かし
あるべき姿描く

オリコンサル
HDが定例会

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは6日、第33回定例会を開いた。東京都新宿区の本社会議室を本会場に、ビデオ会議ツールとストリーミング配信を併用したハイブリッド形式とし、約1400人のグループ役職員が参加した。

2030年ビジョン・中期経営計画の基本方針である「事業創造・拡大」「人材確保・育成」をグループ全社が一丸となって推進するための場として、グループ各社が取り組む重点化プロジェクトのうち、6件の成果と今後の展開が発表された。出席した役員によるインターネット投票では、「3次元地盤モデルによる解析技術の高度化」を発表した高崎沙織さん（アサノ大成基礎エンジニアリング）が最優秀賞に選ばれた。最後に野崎秀則社長が「本日発表のあった重点化プロジェクト6件は、総合事業や研究開発、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や事業経営などを目指した取り組みであり、30年ビジョン・中期経営計画の『革新』『変革』『挑戦』の三つの基本戦略が着実に進んでいることが実感された」と評価した上で、「グループ各社の強み、

グループ全体としての強みをいかに発揮していくかが、さらに求められている。現在のビジョンの先の何を指すのか、あるべき姿は何かを常に考えることが重要であり、柔軟な発想力とエネルギーのある行動力をもって、今後もあるべき姿を描いていってほしい」と呼び掛けた。